

中部トラック総合研修センター

屋内実技練習場設備管理業務仕様書

(契約期間:令和3年4月1日～令和6年3月31日)

中部トラック総合研修センター 設備管理業務仕様書	項目番号	項 目 名	SheetNo.
	2	仕様書総則	2

1. 目 的

施設を常に清潔にし快適な環境の確保に努めるとともに、施設に設置されている諸設備の安全と適切な保守点検整備を行い、設備の故障予防に努め、万一異常を発見もしくは予測した場合は適切な処置を取り、建物及び設備の耐久化を図ることを目的とする。

2. 業務対象施設

(1) 施 設 名 中部トラック総合研修センター屋内実技練習場
住 所 愛知県みよし市福谷町杵ノ奥35番5
施設の規模 延床面積 3,000㎡

構 造 S造 地上3階
施設用途 屋内練習場

3. 業務内容

業務内容の大枠は下記の通りとし、各業務の詳細については別記の項目別仕様書に従い、適切に遂行するものとする。

- (1) 空調設備保守点検業務
- (2) 消防設備保守点検業務

4. 業務契約期間 令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日

5. 休 館 日 祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

6. 業務時間及び要員

(1) 業務時間

業務時間は施設管理責任者と協議の上決定すること。

(2) 業務要員

各業務の専門スタッフは、メンテナンスする上での専門知識及び技術を有する者とし、また、各点検業務に必要な有資格者が実施すること。

中部トラック総合研修センター 設備管理業務仕様書	項目番号	項 目 名	SheetNo.
	2	仕様書総則	3

7. 責任者の選任

(1)本業務を遂行する責任者として、設備責任者を各1名選任するものとする。

(2)責任者は本仕様書に定める業務内容を十分に熟知した上で業務要員を指揮指導し、業務を円滑に遂行できる者を選任する。

8. 委託料の支払方法

委託料の支払いについては、9月・3月の年2回の均等割りにて支払うものとする。

9. その他

(1)本仕様書は、設備意匠図面の段階で作成したものである為、能力・台数等が実際とは異なる場合もあるが、軽微変更の場合は、仕様書基準に基づき契約範囲内で実施すること。

(2)その他、本仕様書に記載してない事項については、両者協議の上、決定するものとする。

<p style="text-align: center;">中部トラック総合研修センター 設備管理業務仕様書</p>	項目番号	項 目 名	ShsstNo.
	3	空調設備保守点検業務	4
<p>1. 点検対象設備</p> <p>点検対象設備は、別紙空調設備機器一覧表に記載の通りとする。</p> <p>2. 排風機(有圧換気扇)</p> <p>(1)点検回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回／年 <p>(2)点検内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異音異常の確認 ・絶縁抵抗測定 ・本体除塵清掃 ・総合運転状態の点検 <p>3. 送風機(有圧換気扇)</p> <p>(1)点検回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回／年 <p>(2)点検内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異音異常の確認 ・絶縁抵抗測定 ・本体除塵清掃 ・総合運転状態の点検 <p>4. シーリングファン(多翼式プロペラファン)</p> <p>(1)点検回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回／年 <p>(2)点検内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異音異常の確認 ・絶縁抵抗測定 ・本体除塵清掃 ・総合運転状態の点検 <p>5.備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記点検及び異常呼び出しの緊急対応出張費を含みます。 ・故障修理費は別途。 			

中部トラック総合研修センター 設備管理業務仕様書	項目番号	項 目 名	SheetNo.
	4	消防設備保守点検業務	5

1. 点検対象設備

点検対象設備は、別紙消防設備機器一覧表に記載の通りとする。

2. 点検回数

点検回数は、機器点検を年1回、総合点検を年1回とする。

3. 点検内容

点検は、消防法17条の3の3及び「消防法施行規則の規定に基づき消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の結果についての様式(昭和50年消防庁告示第3号)」、「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式(昭和50年消防庁告示第14号)」、建築基準法に基づいて実施する。

尚、法改正により変更があった場合は、その都度協議のうえ変更していくものとする。

4. 別途項目

消火器薬剤の詰替え及び消火栓ホース、連結送水管の耐圧性能試験は別途とします。

1. 研修棟・宿泊棟

機器名(記号)	仕様	電源	設置階	数量	備考
排風機 EF-101	有圧換気扇 壁掛式 風量:16,920 \cdot /h 静圧:100Pa 番手:700 ϕ	200V 3 ϕ	1階	12	消費電力 1.5kw
排風機 FS-101	有圧換気扇 壁掛式 風量:18,450 \cdot /h 静圧:100Pa 番手:800 ϕ	200V 3 ϕ	1階	11	消費電力 2.2kw
シーリングファン CF-1	多翼式プロペラファン	200V 3 ϕ	1階	2	消費電力 1.5kw

中部トラック総合研修センター 設備管理業務仕様書	項目番号	項目名	SheetNo.
	6	消防設備機器一覧表	7

1. 研修棟・宿泊棟

設 備 機 器	数 量
自動火災報知設備	
・差動分布式感知器	55系統
・発信器(P型1級)	5
屋内消火栓設備	
・消火栓BOX	5
・表示灯	5
・電鈴	5
消火器(10型)	6